

第2510地区 第11グループ



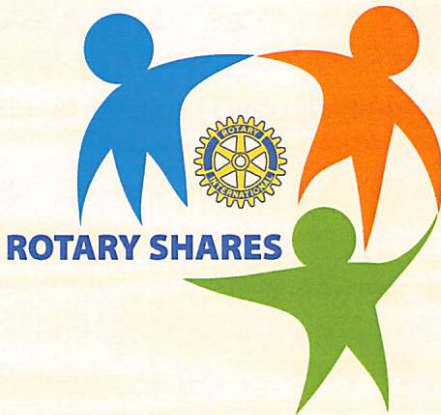
The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

# 函館北ロータリークラブ会報

2007～08年度  
国際ロータリーのテーマ

## ロータリーは 分かちあいの心



2007～08年度  
国際ロータリー会長

ウィルフリッドJ.ウィルキンソン

*W. Wilkinson*

石橋輝夫 会長 テーマ

—— ゆっくりと、ほどほどに ——



9月5日卓話 松見 修二 会員



誕生祝の方  
結婚祝の方  
おめでとうございます  
ごぞいませ

## 《第2120回例会》 第 10 号 9月12日(水)

### 本日のプログラム

#### 早朝例会 「洞爺丸慰霊碑清掃」

於 七重浜 午前6時30分～

★会 長 石 橋 輝 夫

★幹 事 渡 部 二 康

例会場：函館国際ホテル  
例会日：毎週水曜日 12:30～13:30

〒040-0064 函館市大手町5-10  
事務局：函館市大手町5-10 二子ビル4F

TEL23-5151  
TEL23-3870

る伝統的な集いを35年間続けている。最近では女性も加わるなど多少の変化はあるが、職業奉仕活動の一つとして、一方通行に終わらせず、互いに語り合い交流する工夫を積み重ねている。

• 二つ目は、社会奉仕委員会マターの活動

1966年結成された札幌第一高等学校IACのスポンサークラブで、今年で41年の歴史を有している。

• 三つ目は、国際奉仕委員会マターの活動

高校生や大学生を対象にした留学生を支援している。

R Iの標語『ロータリアンは青少年の模範』を基に、3大奉仕委員会が活動を支援している。

この様に札幌RCの奉仕部門は、各RCが取り組むべき基本であり、R Iが推奨するCLPが基本を逸脱することが無いように望むものである。

新世代の活動を支えるには、その対象となる年代に目線を合わせ、家族愛、郷土愛、祖国愛そして最後に人類愛を育むことが大切であろう。

(会報担当者：阿部 誠太 委員)

土木・建設・鉄筋工事業 北海道知事 渡島(般-17)第2968号



## 株式会社 イズミ鉄筋工業

代表取締役 泉 彰

鉄筋基幹技能士：菅野 幸夫・中村 圭輔

厚生労働大臣認定 鉄筋一級技能士：

新屋敷幸三・嘉義 俊昭・泉 昌樹・秋田谷 勇・高橋 亘・滝澤 潤  
玉井 利勝・秋元 輝彦・本庄 智彦・佐藤 哲也・佐々木弘幸

〒041-0262 函館市古川町474番地の1 TEL 0138-58-3954 FAX 0138-58-3961

(広告掲載：泉 彰 会員)

函館北ロータリークラブのホームページアドレス <http://www.hakodate-north.org/>

### ◎ 8月22日出席報告 (増山 正 委員長)

会 員	31名	出席率対象会員	30名
		出席規定免除会員(a)	0名
		出席規定免除会員(b)	1名
当日出席	22名	当日欠席	8名
他クラブ出席	4名	出席合計	26名
出席率		86.67%	

・テレフォンサービス(例会移動案内) 電話 26-3170番

次回・9月19日  
プログラム

夜間例会「第2回クラブアッセンブリー」

— 小野 孝良 ガバナー補佐を迎えて —

函館国際ホテル 午後6時30分～

2007～2008〈第 2119 回例会〉第 9 号

9月5日の記録

◎司 会 石橋 輝夫 会長      ◎斉 唱 君が代、手に手つないで、四つのテスト

◎ビジター 函館 R.C.丸山雄一君

★誕生祝 山下(宜)会員 (5日)、小川会員 (20日)、泉 会員 (25日)、斎藤会員 (28日)、  
深瀬会員 (30日)

★結婚祝 山下(宜)会員 (2日)、薮下会員 (10日)、阿部会員 (25日)

◎会長報告 石橋 輝夫 会長

○9月は、8日東RC50周年記念式典、12日洞爺丸慰霊碑清掃早朝例会、19日クラブアッセンブリー、  
30日ハーフマラソン(移動例会)等行事が多い月ですが、よろしくお願ひします。

普通例会は本日だけです。担当各委員会の皆様よろしくお願ひします。また、ハーフマラソン用の  
ジャンパーが市から届いています。新入会員の小川、高橋、金田各会員へお渡しします。帽子もあり  
ますが、まだ届いていないので、届き次第お渡しします。

◎委員会報告

○社会奉仕委員会 弗田 和則 委員長

ハーフマラソンの人員振り分けは昨年になります。駐車場がない所もありますが、路上駐車可の  
ところを利用するなどお願ひします。また、次週洞爺丸慰霊碑清掃ですが、高田前委員長が道具等  
を管理していきまして、次週持って来ていただきます。

◎幹事報告 渡部 二康 幹事

○本日BOXに案内を配布いたしましたが、26日の例会は30日函館ハーフマラソン移動例会といたし  
ます。給水作業が終わった会員より、順次大黒屋旅館さんへ集まっただき、温泉に入り汗を流  
すなどしてお過ごしください。12時30分より例会を開催の予定ですが、最終の給水地点の終了時間  
を見ながら進めたいと思いますので、よろしくお願ひします。

○千葉港RCより会報が届いておりますので回覧いたします。

○例会終了後、理事会を開催いたします。

◎親睦活動委員会 泉 彰 委員長

ニコニコBOX投入報告

石橋会長・渡部幹事・弗田会員・成田会員・泉 会員・森 会員・阿部会員・小笠原会員・  
山下(清)会員・新 会員・増田会員・斎藤会員・千葉会員・南木会員・松橋会員・中川会員  
……月初めです。

小川会員……ゴルフで優勝しました。(スコアは82でした)

松見会員……今日卓話です、よろしく。

高橋会員……ロータリー例会もやっと慣れて来ました。

薮下会員……月初めです。又、結婚月です。



◎卓話 「ロータリアンは青少年の模範・新世代のための月間に寄せて」

第2510地区 新世代委員長 松見 修二 会員

ロータリー章典では新世代について次のように記載されています。

○新世代

年齢30歳までの青少年すべてを含む新世代の多様なニーズを認識しつつ、より良い未来を確かなものとするために新世代の生活能力を高めることによって、新世代に将来の準備をさせることは、ロータリアン一人一人の責務である。全てのクラブと地区は、健康、人間的価値、教育、自己開発といった新世代の基本的ニーズを支えるプロジェクトに取り組むように奨励されている  
(1998年6月理事会会合、決定348号)

○新世代への奉仕

- ・保 険 ポリオ・プラス、保健教育、幼児期発育、薬物とアルコール濫用の防止、エイズに対する認識の向上、障害者への支援、貧困プロジェクト、飢餓プロジェクト。
- ・人間的価値 地域社会における普遍的な人間的価値の推進、家族及び地域社会の模範としての行動、父母への助言者プロジェクト、家族にクラブ奉仕へ参加してもらうこと、異世代交流プロジェクト、文字教育プロジェクト、紛争解決プロジェクト、子供の権利に関するロータリー方針の支持、自分の時間を惜しみなく与えること。
- ・教 育 実用的な識字能力、奨学金、青少年交換、模擬国連、職業訓練、青少年のための就業経験とインターンシップ、環境保全、地域社会における青少年のイメージ向上、新世代のニーズに対する地域社会の認識向上。
- ・自己開発 新世代のためのロータリー会議、助言者プロジェクト、インターアクト及びローターアクトクラブ、インターアクト及びローターアクトクラブ会員を対象とした指導力研修、ロータリー青少年指導者養成プログラム、地域社会における青少年諮問機関の設置、仲間支援プロジェクト、余暇の生産的な使い方の助長。

(1998年6月理事会会合、決定219号)

この様に新世代のプログラムは多岐に渡っていますが、その根源はクラブとロータリアン一人一人にあると思われます。

そこで、07年3月15日に開催した、地区協議会・新世代部会に出席された、札幌RCの青少年担当理事(吉田 宏氏)の計画発表を紹介します。

札幌RCにはRI手続き要覧にある「新世代」を称する委員会はなく、青少年を対象にした奉仕活動は、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕の3大奉仕委員会の奉仕活動に包含されている。

・一つ目は、職業奉仕委員会マターの活動

『若い人と語ろう会』と言う会が組織されている。札幌RC独自の活動で、1972年度、第39代、阿部卓司会長の提唱で発足したものである。当時は、大学学校制度の改革で急速に大衆化した大学では、学園紛争が全国に波及し、全共闘の反安保闘争は高校生まで巻き込む状況であった。一方、ノンポリ学生とか無気力・無関心・無責任と、いわゆる三無と言われる若者がいて、若者の意識が硬軟2極に分化する世相を呈していた。

この様な中で、次代の建設を担う若い人たちと対話を重ねることで、混乱に歯止めを掛けてもらうことを期待して、『若い人と語ろう会』が発足した。

所属会員の事業所から30歳までの若い人を会員に募り、毎年メンバーを入れ替え、一堂に集合しクラブ会員が講師を勤め、講義終了後お互いに意見を述べ、語り合うプログラムを継続している。発足時は28人の会員で年40回にも及ぶ会であったが、近年は20~25人で、年に4~5回集ま